

宇城市地域公共交通総合連携計画

平成 23 年 3 月

宇 城 市

—目次—

1．計画策定の背景と目的	1
2．宇城市の現況	2
2 - 1 社会情勢	2
(1) 地勢	2
(2) 人口	3
(3) 人口流動	6
(4) 観光	8
(5) 主要施設分布	9
2 - 2 交通の現況	10
(1) 公共交通の運行状況	10
(2) 公共交通への補助金額	17
3．公共交通利用実態調査	18
(1) 市民アンケート調査	18
(2) 事業者ヒアリング調査	19
4．地域公共交通総合連携計画	●
4 - 1 宇城市の公共交通に関する問題点	●
4 - 2 計画	●
(1) 計画の区域	●
(2) 計画の期間	●
(3) 計画の基本的な方針	●
(4) 計画の目標	●
(5) 事業の内容	●
(6) 事業の実施主体	●
(7) 事業の実施スケジュール	●
4 - 3 計画の進行管理	●

1 . 計画策定の背景と目的

宇城市では、生活交通の活性化や観光需要の喚起、観光客の移動手段となる公共交通の連携・活性化を図るため、自治体や公共交通事業者(鉄道事業者、路線バス事業者、海上交通事業者等)、住民による協議・検討を行い、利用者ニーズの変化や地域の交通事情の変化などに柔軟な対応ができる交通体系の構築に向けた総合的な連携計画を策定する必要があります。

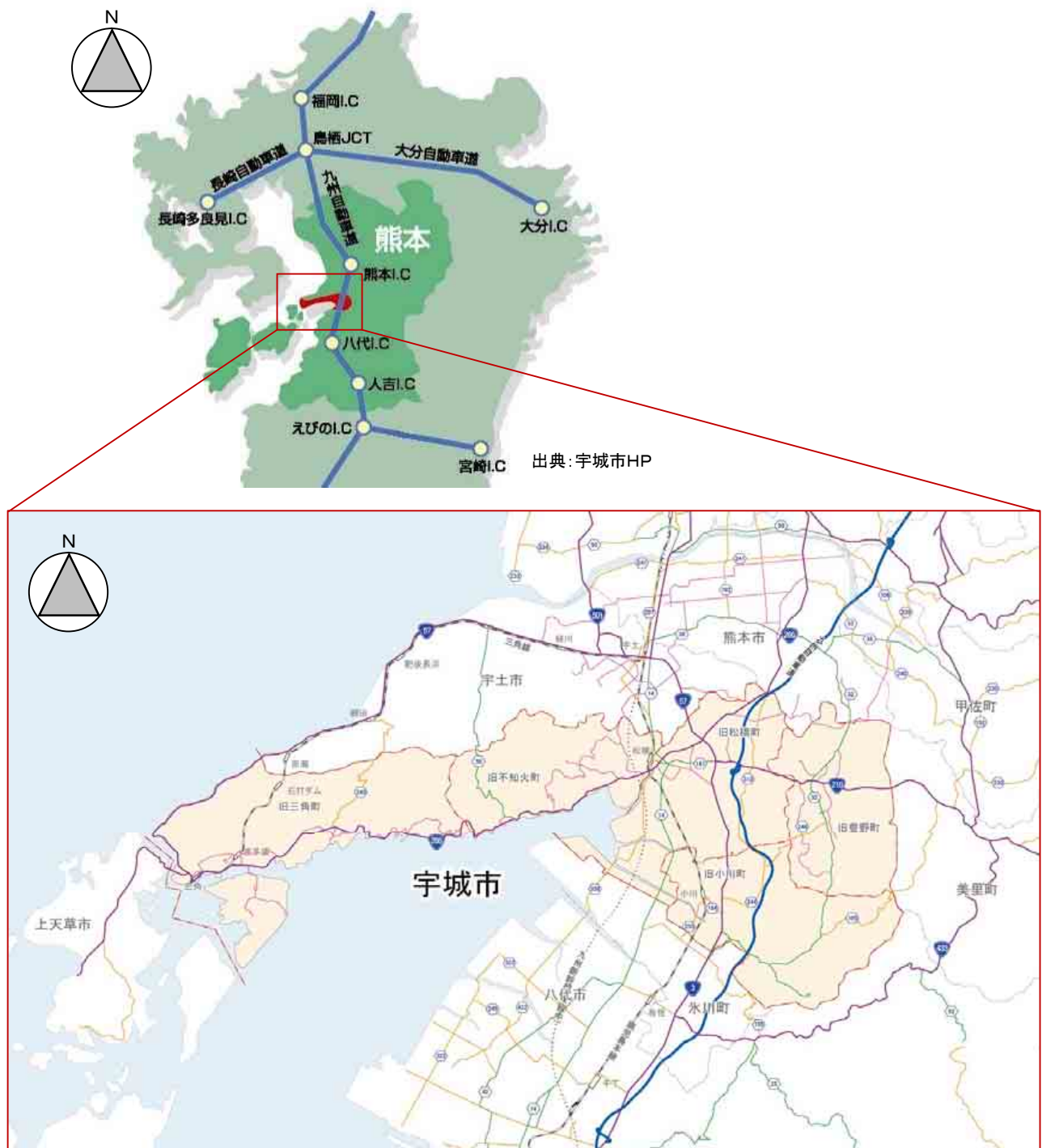
地域公共交通総合連携計画では、宇城市における地域課題を分析し、将来にわたって維持が可能な公共交通の再編とＪＲ三角線を軸とした宇城・天草地域の総合公共交通網の構築を主な目的とします。

2 . 宇城市の現況

2 - 1 社会情勢

(1) 地勢

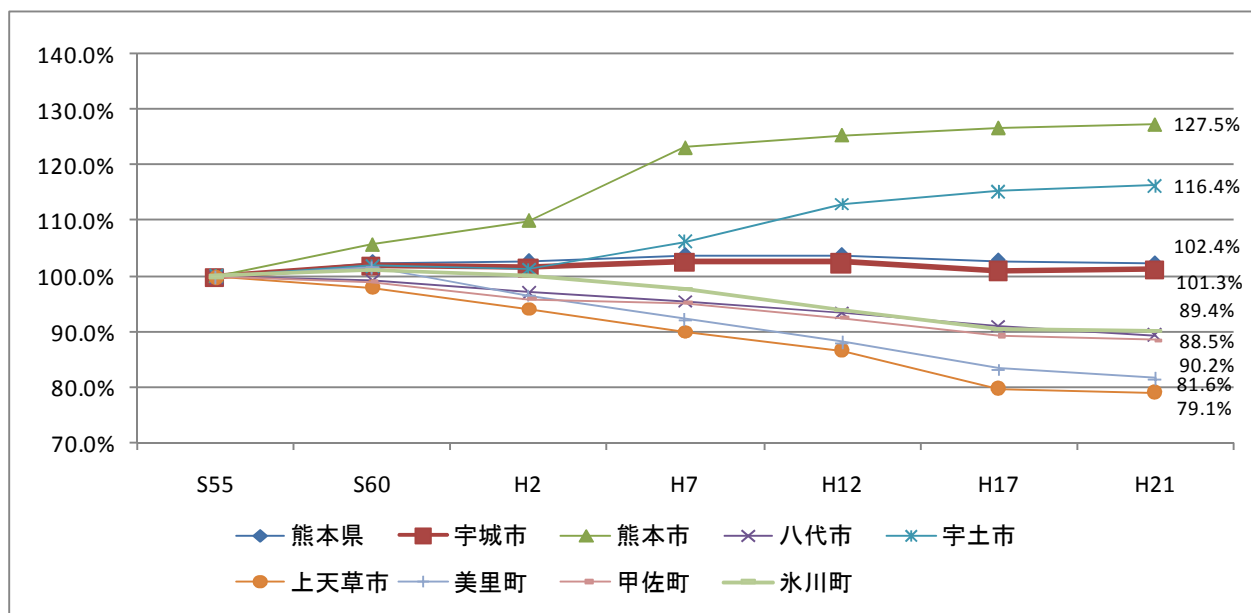
- ・宇城市は、平成 17 年 1 月 15 日、旧宇土郡三角町、不知火町、下益城郡松橋町、小川町、豊野町の 5 町が合併して誕生しました。
- ・九州の経済大動脈である国道 3 号と西は天草、東は宮崎県への結末点という地理的状况に恵まれ、美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた自然景観、そして都市的機能を併せ持つバランスの取れた水と緑と心豊かな市域を形成しています。



(2) 人口

人口推移

- ・宇城市の人口は63,248人(平成21年現在)で、近隣他市町と人口推移を比べた場合、宇城市の人口は横ばい傾向にあり大きく変化していません。



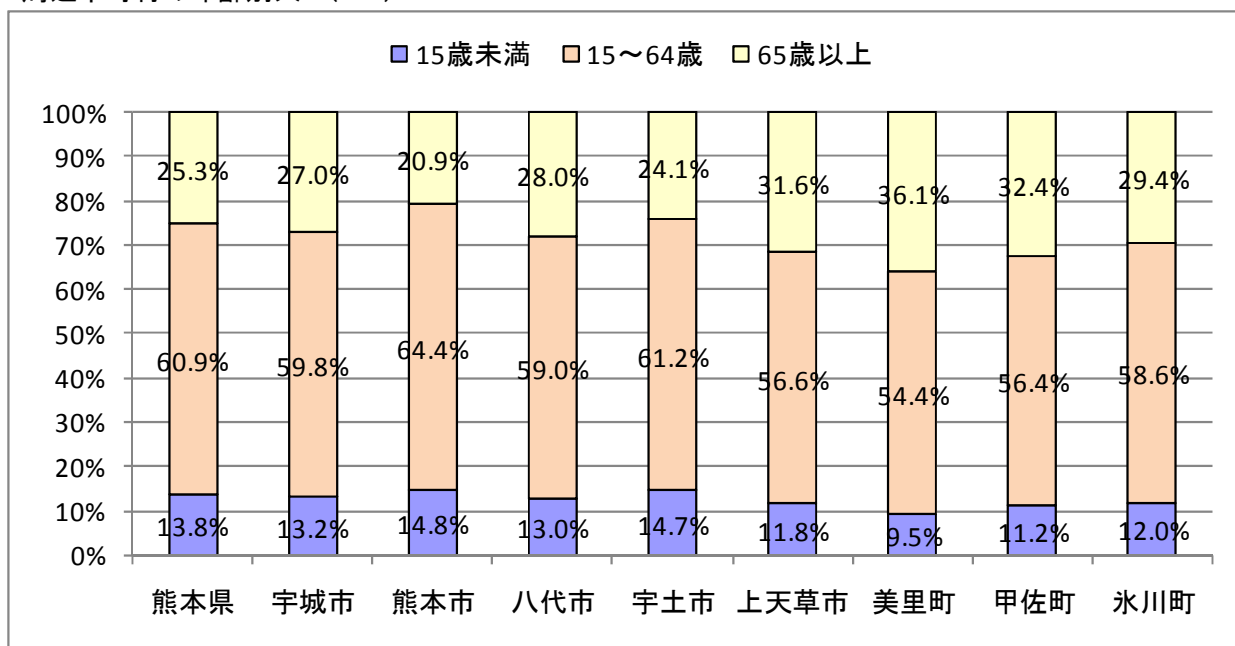
区分	項目	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H21
熊本県	人口(人)	1,790,327	1,837,747	1,840,326	1,859,793	1,859,344	1,842,233	1,833,757
	伸び率(S55=1)	100.0%	102.6%	102.8%	103.9%	103.9%	102.9%	102.4%
宇城市	人口(人)	62,412	63,662	63,401	64,008	63,968	63,089	63,248
	伸び率(S55=1)	100.0%	102.0%	101.6%	102.6%	102.5%	101.1%	101.3%
熊本市	人口(人)	567,586	600,214	625,039	699,945	712,924	720,016	723,707
	伸び率(S55=1)	100.0%	105.7%	110.1%	123.3%	125.6%	126.9%	127.5%
八代市	人口(人)	150,389	149,421	145,959	143,712	140,655	136,886	134,447
	伸び率(S55=1)	100.0%	99.4%	97.1%	95.6%	93.5%	91.0%	89.4%
宇土市	人口(人)	32,954	33,575	33,390	35,010	37,255	38,023	38,351
	伸び率(S55=1)	100.0%	101.9%	101.3%	106.2%	113.1%	115.4%	116.4%
上天草市	人口(人)	40,682	39,900	38,316	36,667	35,314	32,502	32,193
	伸び率(S55=1)	100.0%	98.1%	94.2%	90.1%	86.8%	79.9%	79.1%
美里町	人口(人)	14,727	14,983	14,222	13,594	12,969	12,254	12,013
	伸び率(S55=1)	100.0%	101.7%	96.6%	92.3%	88.1%	83.2%	81.6%
甲佐町	人口(人)	12,989	12,864	12,459	12,372	12,012	11,604	11,498
	伸び率(S55=1)	100.0%	99.0%	95.9%	95.2%	92.5%	89.3%	88.5%
氷川町	人口(人)	14,624	14,798	14,646	14,287	13,725	13,232	13,192
	伸び率(S55=1)	100.0%	101.2%	100.2%	97.7%	93.9%	90.5%	90.2%

出典：各年国勢調査（S55～H17）
熊本県統計（H21）

年齢別人口

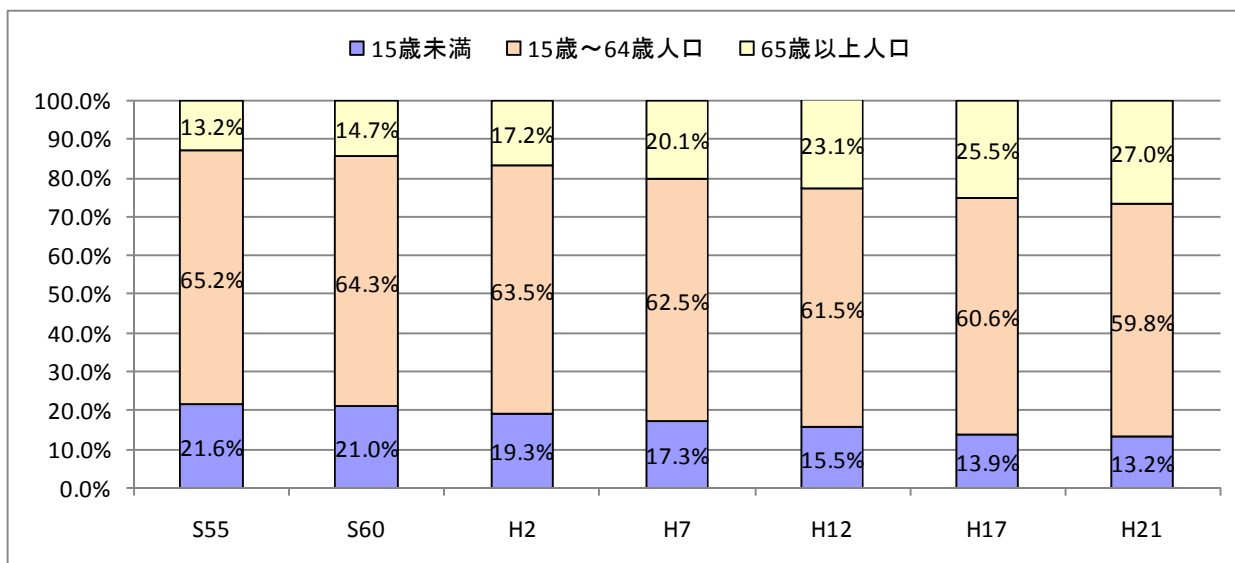
- ・県内の近隣市町村及び熊本県の年齢別人口構成を比較すると、宇城市の65歳以上の高齢者の割合は、27.0%と、熊本県の25.3%より高い割合を示しており、市民の3人に1人が65歳以上という高齢化の状況にあります。
- ・宇城市の年齢別の人口推移を見ると、15歳未満の割合は減少傾向、65歳以上の高齢者人口の割合は増加傾向にあり、「少子高齢化」の状況が進行しています。

周辺市町村の年齢別人口(H21)



出典：各年国勢調査（S55～H17）
熊本県統計（H21）

宇城市における年齢別人口の推移(H17)



出典：各年国勢調査（S55～H17）
熊本県統計（H21）

人口分布

・宇城市内の人口分布状況を以下に記載します。

■全人口の分布



■高齢者人口の分布



※1: 旧松橋町市街地の1区、2区、3区、4区、5区、6区、7区、8区、9区は1～9区

※2: 旧松橋町市街地の10区、南11区、北11区、12区は10区～12区

※3: 旧小川町市街地の新町、出来町、亀之町、井手口、西小川、益南、江頭は小川①

※4: 旧小川町市街地の日岳町、納野、蛭子町、寺町、上野、中町は小川②

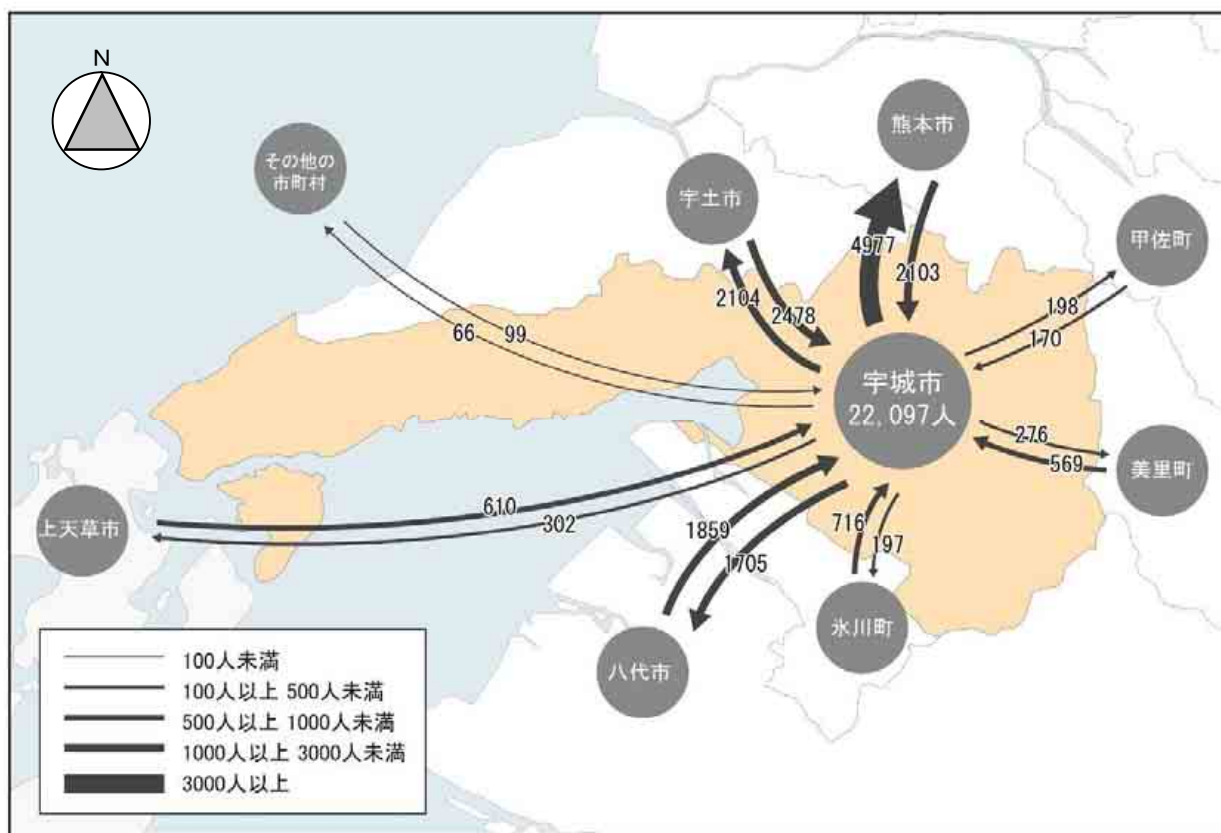
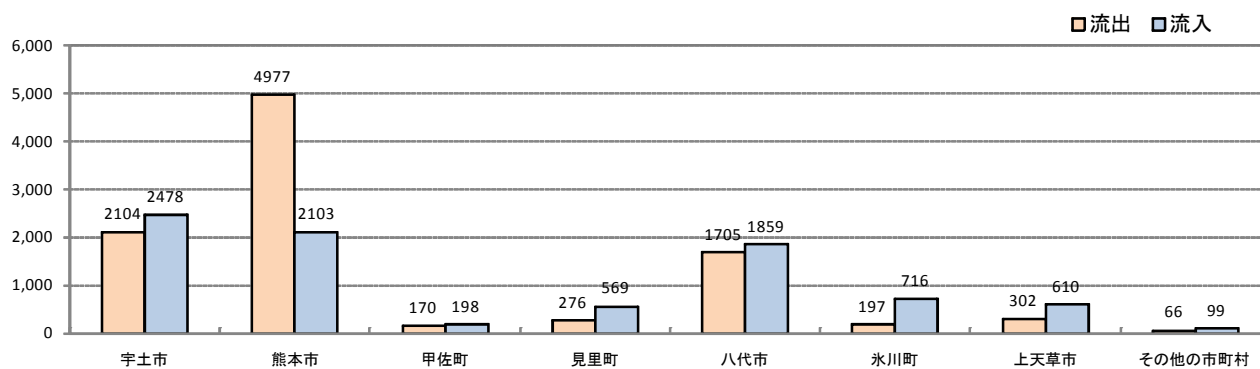
で集計しています。

(3) 人口流動

通勤・通学流動

- ・宇城市の通勤・通学流動を見ると、宇城市内における流動が高くなっています。
- ・市外とのつながりを見ると、熊本市、宇土市、八代市の3市に強いつながりが見られます。

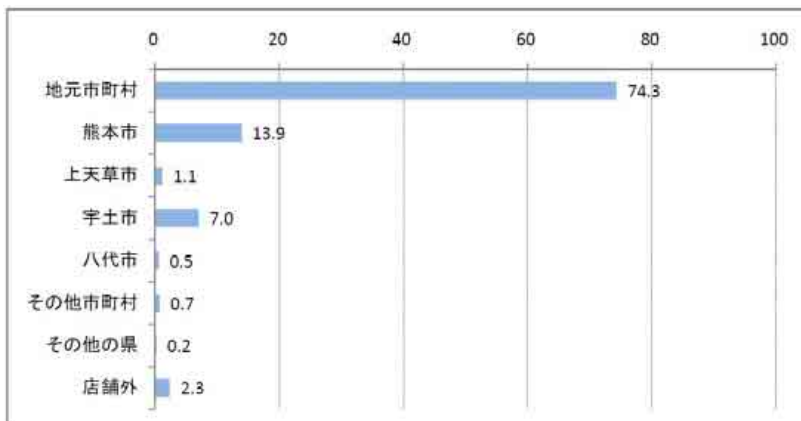
宇城市在住の通勤・通学者	33,962 人
自市内への通勤・通学者	22,097 人



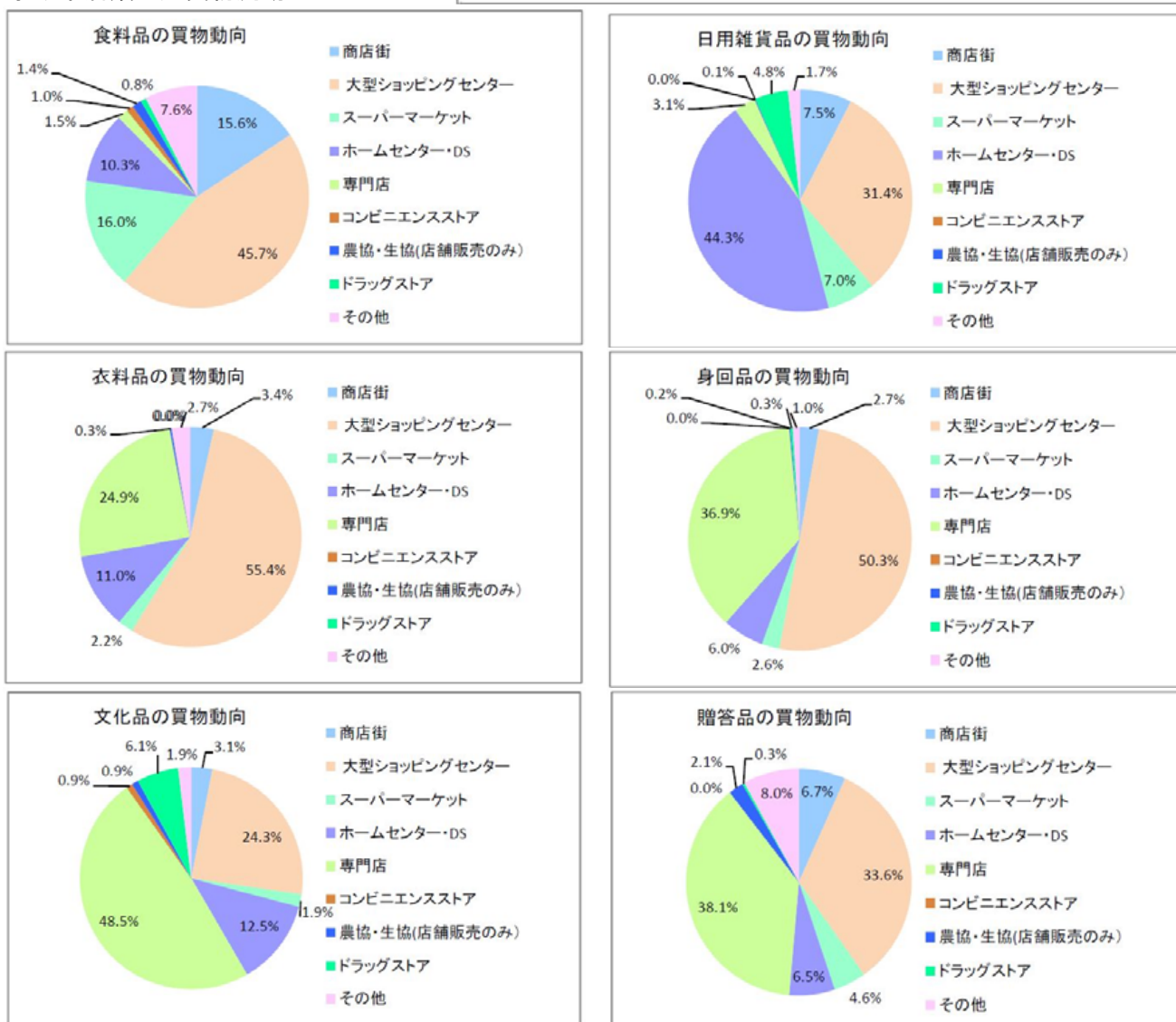
買物流動

- ・宇城市の買物流動を見ると、市内での買物流動が約74%と高い割合を示しています。次いで熊本市が約14%、宇土市が約7%となっています。
- ・宇城市内の買物流動を店舗類型別にみると、全般的に大型ショッピングセンターが高い割合を示しています。衣料品、身回品、文化品、贈答品については専門店も高い割合を示しています。日用雑貨品についてはホームセンターが高い割合を示しています。

買物流動



宇城市店類型別買物流動

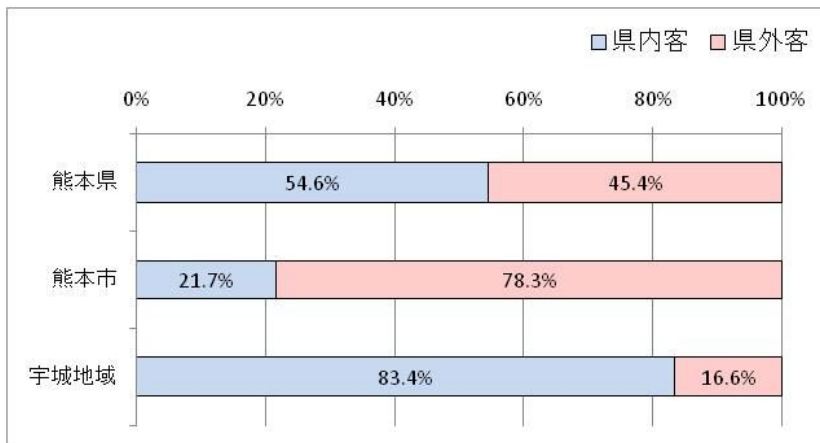


出典: 熊本県消費動向調査(H18)

(4) 観光

- ・宇城地域（宇土市、宇城市、城南町、美里町）の観光客は県内客が約8割を占めています。
- ・宇城市では旧三角町の三角西港公園とフィッシャーマンズワーフ ラ・ガールへの来訪者が多くなっています。
- ・観光施設は市内全域に分布しており、バス路線のルートからはずれている施設が見られます。

観光客に占める県内客・県外客の割合



出典：平成20年度熊本観光統計表

宇城市観光施設年間入込客数

順位	施設名	(人)
1 位	三角西港公園	306,102
2 位	三角フィッシャーマンズワーフ ラ・ガール	294,300
3 位	不知火温泉ふるさと交流センター	257,310
4 位	(有)アグリパーク豊野	190,586
5 位	岡岳総合運動公園	113,345
6 位	ワールドカントリー倶楽部	47,808
7 位	サン・ビレッジしらぬひ	46,548
8 位	あつまるレークカントリー	40,702
9 位	不知火カントリー	34,597
10 位	峠の岩清水	24,350
11 位	戸馳花の学校	17,452
12 位	豊野少年自然の家	12,412
13 位	若宮海水浴場	11,917
14 位	大田尾海水浴場	8,650
15 位	観音山自然公園	1,674

出典：平成 21 年度熊本観光統計



観光施設位置図

(5) 主要施設分布

- ・公共施設や商業施設、医療施設などの主要施設は、各旧町の中心地に集中しています。公共施設や商業施設、医療施設などの主要な施設は、市街地部に集中しています。



学校: 小学校

施設名	
1 三角小学校	
2 青海小学校	
3 不知火小学校	
4 松合小学校	
5 松橋小学校	
6 当尾小学校	
7 豊福小学校	
8 豊川小学校	
9 小野郎田小学校	
10 河江小学校	
11 小川小学校	
12 海東小学校	
13 豊野小学校	

学校: 中学校

施設名	
14 三角中学校	
15 不知火中学校	
16 松橋中学校	
17 小川中学校	
18 豊野中学校	

学校: 特別支援学校

施設名	
21 松橋養護学校	
22 松橋西養護学校	
23 松橋東養護学校	

学校: 高等学校

施設名	
19 松橋高等学校	
20 小川工業高等学校	

学校: 専門学校

施設名	
24 三角商業専門学校	
25 メディカル・カレッジ青照館	
26 宇城看護高等専修学校	

公共施設: 市役所・支所

施設名	
1 宇城市役所	
2 豊野支所	
3 不知火支所	
4 小川支所	
5 三角支所	
6 松合出張所	

公共施設: 図書館

施設名	
12 豊野図書館	
13 三角図書館	
14 中央図書館	
15 松橋図書館	
16 小川図書館	

医療機関

施設名	
1 宇賀岳病院	
2 宇城市民病院	
3 国立病院機構熊本南病院	
4 済生会みすみ病院	
5 熊本県こども総合療育センター	

※医療機関は二次救急の救急告知病院と公立病院について記載しています。

出典: 第5次宇城地域保健医療計画

公共施設: 福祉施設

施設名	
7 三角老人福祉センター	
8 不知火老人福祉センター	
9 宇城市保健福祉センター	
10 松橋老人福祉センター	
11 豊野福祉センター	

公共施設: 運動施設

施設名	
17 不知火体育館	
18 松合体育館	
19 松橋総合体育文化センター	
20 松橋体育館	
21 観音山総合運動公園	

商業施設

施設名	
1 イオンモール宇城バリュー	
2 宇城ショッピングプラザパルシェ	
3 松橋ショッピングセンターフレンド	
4 三角ショッピングセンター	
5 ゆめマート三角店	

2 - 2 交通の現況

(1) 公共交通の運行状況

路線バス

- ・バス交通は、産交バス(株)、九州産交バス(株)、熊本バス(株)が路線バスを運行しています。
- ・人口分布と重ねてみると、路線バスの運行ルートや運行範囲から外れた集落がみられます。

□路線バスの運行範囲



□路線バスの運行範囲と人口分布を重ねた図



乗合タクシー

- ・乗合タクシーが海東・小川地区(海東校区、小川校区)と戸馳地区の2地区で運行されています。
- ・九州産交バスが運行していた海東線の路線廃止に伴い、海東校区と小川校区(西小川・益南を除く)に、平成20年4月1日より予約制による乗合タクシーが運行しています。
- ・戸馳地区では産交バスが運行していた戸馳線(三角産交～片島東)のバス路線廃止に伴い、平成22年4月1日より予約制による乗合タクシーが運行しています。
- ・平成21年度をみると利用人数は4,281人、市負担額は1,940,050円となっています。

□利用人数

(人)

地区名	内訳	H20年度	H21年度	H22年度 (4月-9月)
海東地区	利用人数	4,355	4,281	2,185
	日平均	17.9	17.7	17.6
戸馳地区	利用人数	-	-	1,449
	日平均	-	-	11.7

□市負担額

(円)

地区名	内訳	H20年度	H21年度	H22年度 (4月-9月)
海東地区	市補助額	1,799,800	1,880,050	1,000,300
	運行料金	3,168,100	3,228,200	1,698,900
	利用料金	1,368,300	1,348,150	698,600
	通信料	65,000	60,000	30,000
	市補助額合計	1,864,800	1,940,050	1,030,300
戸馳地区	市補助額	-	-	922,460
	運行料金	-	-	1,383,100
	利用料金	-	-	460,640
	通信料	-	-	30,000
	市補助額合計	-	-	952,460

□海東・小川地区

- ・海東校区と小川校区（西小川・益南を除く）から市役所小川支所を中心とした発着エリアまでを結ぶ区間で利用できるようになっています。

■海東・小川地区 乗合タクシー時刻表

平日（月曜 ～ 金曜）のみ運行（土・日・祝日、年末年始 12/29～1/3 は運休）

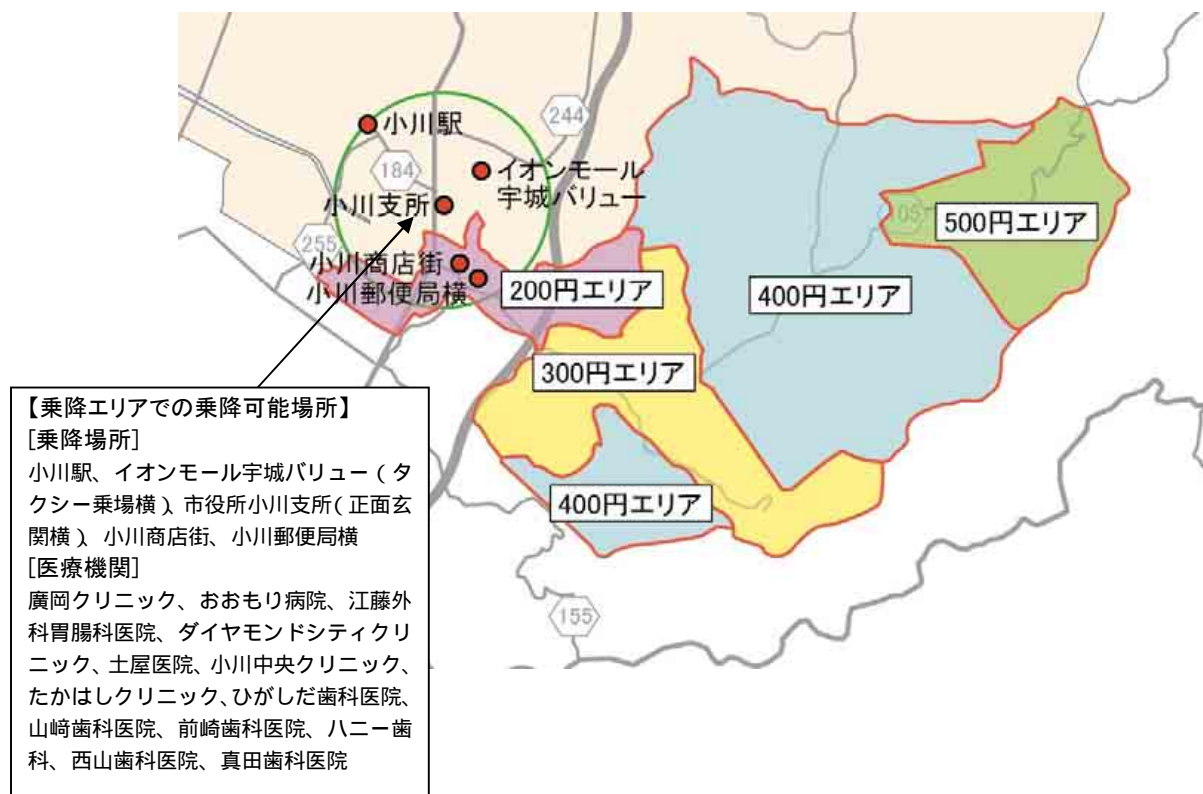
海東方面 ⇒ 小川町中心部(発着エリア)行き	小川町中心部(発着エリア) ⇒ 海東方面行き
8:00	-
9:00	10:00
11:00	12:00
13:00	14:00
15:00	16:00

※各時刻とも最初の利用者の乗車時刻を示します。

■海東・小川地区 乗合タクシーの利用料金

利用料金	利用ができる地域
200円	表南小川、日岳町、納野、蛭子町、寺町、上町、中町、新町、出来町、亀之町、井出口
300円	野添、宮園、蓮仏、稲川・樋渡
400円	弦巻、田中、小園、小川西、大岩、平野、引上・長迫・楫屋林、西山・境尾
500円	舞嶋

3歳から小学生までは上記利用金額の半額とし、その額の10円未満は切り上げ。3歳未満は無料



□ 戸馳地区

- ・ 戸馳地区と三角町の中心エリアを結ぶ区間を運行しています。乗降エリアでは6ヶ所の地点とエリア内の6病院で乗降ができるようになっています。
- ・ 戸馳地区内では戸馳郵便局及び佐藤医院への利用が可能となっています。

■ 戸馳地区 乗合タクシー時刻表

平日(月曜日～金曜日)のみ運行(土・日・祝日、年末年始12/29～1/3は運休)

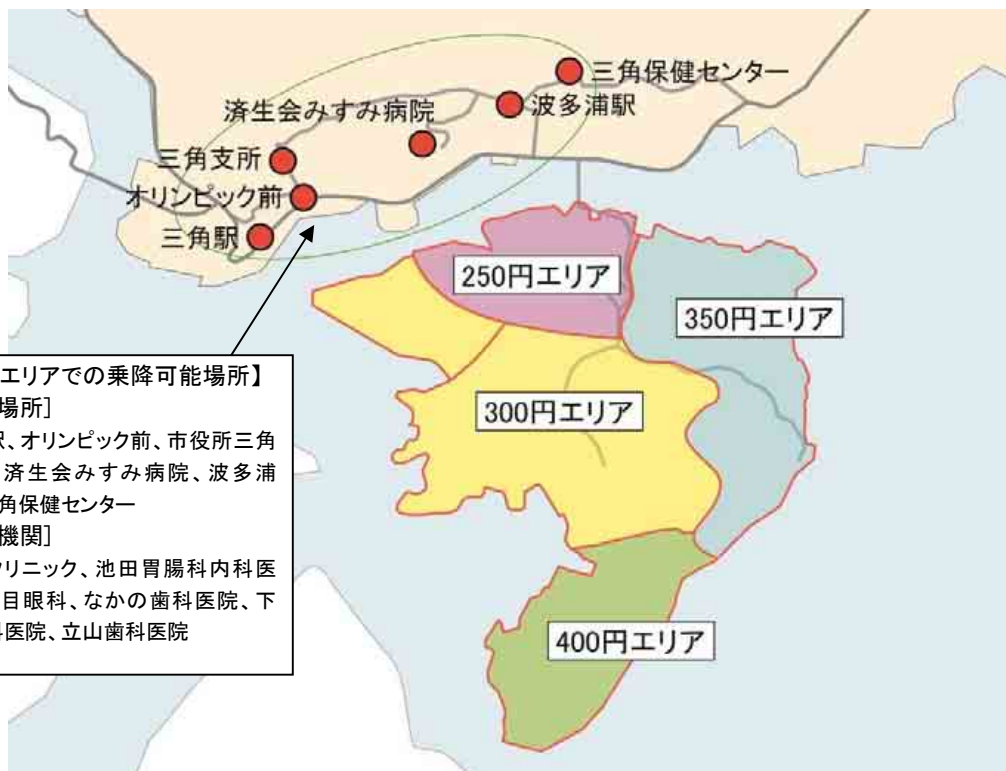
戸馳 ⇒ 乗降エリア(三角町中心部)行き (戸馳 ⇒ 戸馳郵便局・佐藤医院)	乗降エリア(三角町中心部) ⇒ 戸馳行き (戸馳郵便局・佐藤医院 ⇒ 戸馳)
8:00	10:00
9:00	12:30
13:00	14:00
14:30	16:00
16:30	18:00

※各時刻とも最初の利用者の乗車時刻を示します。

■ 戸馳地区 乗合タクシーの利用料金

利用料金	利用ができる地域
200円	戸馳地区内から戸馳郵便局・佐藤医院
250円	田井浦地区
300円	野崎地区、内潟地区
350円	本村地区
400円	片島地区

3歳から小学生までは上記利用金額の半額とし、その額の10円未満は切り上げ。3歳未満は無料



鉄道

- ・鉄道の路線は、JR 鹿児島本線と JR 三角線の 2 路線が運行しています。

JR 鹿児島本線は松橋駅と小川駅の 2 駅、JR 三角線は石打ダム駅と波多浦駅、三角駅の 3 駅、計 5 駅となっています。

- ・年間乗降人員の推移を見ると、各駅とも緩やかな減少傾向となっています。



JR 鹿児島本線年間乗降人員

単位：人

	H17	H18	H19	H20	H21
松橋駅	1,308,200	1,302,300	1,268,100	1,280,400	1,232,200
小川駅	852,000	827,800	860,500	848,700	814,300

日平均乗降人員

単位：人

H21
3,300
2,200

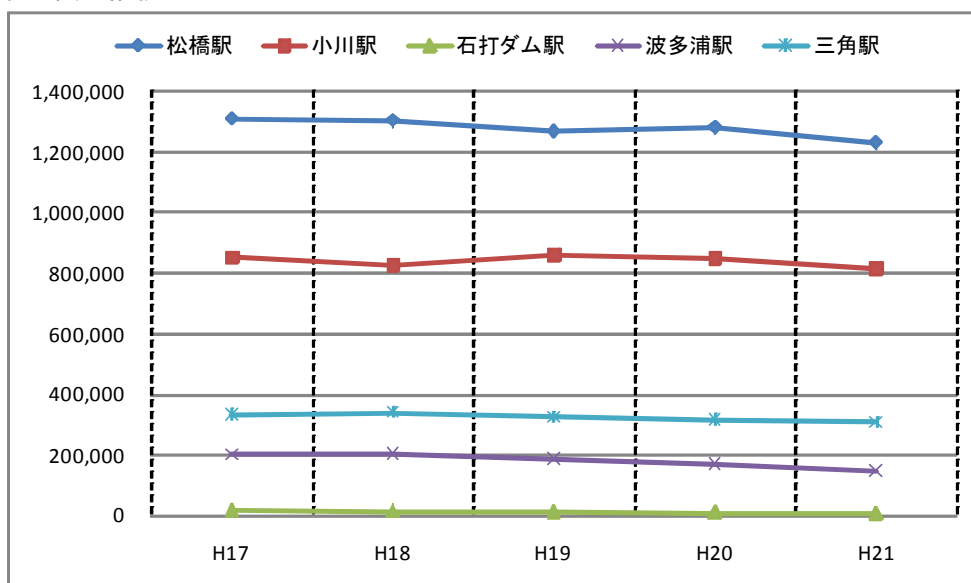
JR 三角線年間乗降人員

単位：人

	H17	H18	H19	H20	H21
石打ダム駅	18,600	14,800	12,600	9,900	7,800
波多浦駅	201,700	204,500	185,700	169,200	147,700
三角駅	332,700	341,000	325,400	316,700	309,100

H21
22
400
850

乗降者人員の推移



出典：JR九州熊本支社

航路

- ・三角港から上天草市前島を経由して天草市本渡港を結ぶ定期航路が就航している。
- ・クルーザータイプの船舶で運行され、定員は50～73名である。
- ・平成22年11月まで1日3往復運行されていたが、平成22年12月より平成23年2月まで船舶のメンテナンスのため運休している。（平成23年3月1日再開予定）
- ・運賃は三角～前島間が片道700円、三角～本渡港が片道1,800円となっており、その他往復割引運賃や本渡バスセンターまでのバス乗継料金が設定されていた。
- ・利用者数は平成21年4月～7月間の合計で2,945人となっていた。

[航路概要]



※松島(※天草五橋の4号橋と5号橋の間に位置する前島)

[運行ダイヤ]

天草宝島ライン	三角港	発	11:10	13:40	16:00
	松島	着	11:27	13:57	16:17
	本渡港	着	12:07	14:37	16:57
天草宝島ライン	本渡港	発	8:50	12:35	14:45
	松島	発	9:25	13:10	15:20
	三角港	着	9:47	13:32	15:42

[運賃表]

		(単位：円)		
		往復運賃(片道あたり)		
片道運賃	三角港		700	1,800
	前島	800		1,000
	本渡港	2,000	1,200	
	バス乗継	2,130	1,330	—

[利用状況]

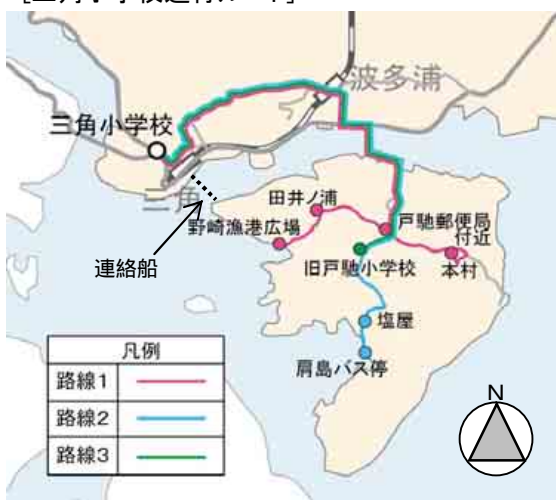
区間別輸送状況 (H21.4～7月合計) (単位：人)				
発	着	三角	松島	本渡
三角			389	1047
松島	230			20
本渡	1246	13		

出展：JR三角線を軸とした宇城・天草地域の総合公共交通網の整備に関する調査報告書

スクールバス

- ・スクールバスは、小学校では三角小学校、豊野小学校の2校、中学校では不知火中学校の1校で運行されています。
- ・その他路線バスと船を利用して定期券支給が行われており、小学校では三角小学校と青海小学校、中学校では三角中学校で実施されています。
- ・運行経費は平成21年度においてはスクールバスの業務委託分が11,208,170円、定期券支給が11,089,780円、船115,200円の合計22,413,150円となっています。

[三角小学校運行ルート]



[豊野小学校運行ルート]



[不知火中学校運行ルート]



H21年度

	学校名	補助金(円)	計(円)
業務委託	三角小学校	6,400,800	
	豊野小学校	2,507,870	
	不知火中学校	2,299,500	11,208,170
路線バス定期支給	三角小学校	1,908,290	
	青海小学校	1,193,160	
	三角中学校	7,988,330	11,089,780
船	三角中学校	115,200	115,200
合計			22,413,150

船：三角東港～野崎港を結ぶ連絡船

(2) 公共交通への補助金額

- ・平成21年度の公共交通への負担額は95,331千円となっています。下記に内訳を示します。
- ・スクールバスの負担額について、平成20年度以前のデータが不明なため記載していません。

単位:千円

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
路線バス					
産交バス(株)	56,103	66,368	71,949	76,821	68,407
県負担額	16,803	17,966	17,176	16,705	17,137
市負担額	39,300	48,402	54,773	60,116	51,270
九州産交バス(株)	3,330	1,923	1,884	2,175	1,529
県負担額	1,557	773	628	724	490
市負担額	1,773	1,150	1,256	1,451	1,039
熊本バス(株)	0	0	1,005	1,071	1,043
県負担額	0	0	50	150	189
市負担額	0	0	955	921	854
県の補助額変更					-2,236
計	59,433	68,291	74,838	80,067	70,979
県負担額	18,360	18,739	17,854	17,579	15,580
市負担額	41,073	49,552	56,984	62,488	55,399

※路線バスの補助金は10月から翌年9月末までの集計。金額は千円以下は切り捨て。

単位:千円

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
乗合タクシー					
海東・小川地区				1,864	1,940
戸馳地区					
計	0	0	0	1,864	1,940

※乗合タクシーの補助金は4月から翌年3月末までの集計。金額は千円以下は切り捨て。

単位:千円

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
スクールバス					
業務委託					11,208
定期券補助					11,204
計	0	0	0	0	22,412

※業務委託には豊野小学校の非常勤運転手雇用費用を含む。定期券補助には渡船定期券を含む。

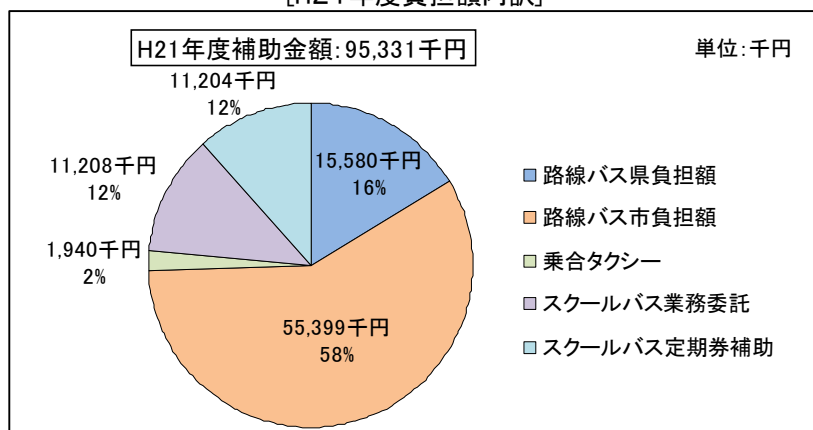
※金額は千円以下は切り捨て。

単位:千円

	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度
補助金額					
合計	59,433	68,291	74,838	81,931	95,331
県負担額	18,360	18,739	17,854	19,443	39,932
市負担額	41,073	49,552	56,984	64,352	79,751

※金額は千円以下は切り捨て。

[H21年度負担額内訳]



3 . 公共交通利用実態調査

宇城市の公共交通の現状およびニーズを把握するため、市民や公共交通事業者を対象とした調査を実施しました。

以下に各調査の概要及び結果を記載します。

実施した調査

- (1) 市民アンケート調査
- (2) 事業者ヒアリング調査

(1) 市民アンケート調査

調査概要

1)調査目的

宇城市における現在の公共交通(バス交通、乗合タクシー、鉄道等)の利用状況等を把握し、連携計画策定の参考とする目的でアンケート調査を実施しました。

2)調査日

平成 22 年 12 月

3)調査地点

宇城市内

4)調査方法

住民基本台帳に基づき無作為に抽出した宇城市民 3,000 人への郵送による配布、回収

5)有効回答率

有効回答率：44.6%(配布数 3,000 部、有効回収数 1,339 部)

(2) 事業者ヒアリング調査

調査概要

1) 調査目的

公共交通の運行状況や事業者からのニーズ、利用者のニーズ等を把握する目的で実施しました。

2) 調査対象

- ・路線バス事業者：2 機関
- ・タクシー事業者：2 機関
- ・鉄 道 事 業 者：1 機関
- ・教 育 関 連：1 機関

調査結果

主な意見

- ・ 地域の過疎化、少子高齢化で路線バスの利用者は年々少なくなっている。
- ・ 豊野町を通過する路線は利用者が非常に少ない。代替手段を検討してはどうか。
- ・ 乗合タクシーの利用目的は通院が多く、診療時間に合わせたダイヤ変更の意見がある。
- ・ 台風など緊急時の短縮授業の際、路線バスのダイヤが合わないため臨時便など出せないか。
- ・ 公共交通の将来像が何なのか長期的な視点で考えるべき。

路線バスについて

- ・ 大口、小田良までの路線は小中学生の通学用途が多い。
- ・ 三角小学校、青海小学校、三角中学校には定期券補助を支給している。
- ・ 自主運行路線を拡大したい。
- ・ 市役所と松橋駅間の路線がない。
- ・ 路線の削減は距離ベースではなく台数ベースで考えるべき。台数あたりの運行距離が減っても台数が減らないと経費の削減にはならない。
- ・ 三角と松橋間を 1 系統で結ぶ必要があるのか検討する必要がある。
- ・ 路線バスのような大きな車両ではなく、マイクロバスのような小さな車両で山奥の集落まで運行することはできないか。

乗合タクシーについて

- ・ 利用者は高齢者がほとんどで、海東・小川地区：約 200 人/月、戸馳地区：約 300 人/月の利用がある。
- ・ 普段は時間帯ごとに 1 台のみ配車している。多くて 2 台程度の配車で十分である。
- ・ 利用者の満足度は高い。
- ・ 料金設定を見直せないか。

鉄道について

- ・ 宇城市内の駅年間乗降者数は年々減少している。(H17：271万人 → H21：251万人)
- ・ 熊本～三角間に観光列車を導入する話がある。(検討段階)
- ・ バスやフェリーとの接続・連携を促進したい。

スクールバスについて

- ・ 夏休みも部活などがあるため毎日運行している。(便数は少なくなる。日曜日は運休)
- ・ スクールバスへの一般混乗は以前話に出たことはあるが検討は進めていない。

その他

- ・ 商店街や病院がスポンサーになって路線維持するなど、地域で維持する公共交通という考えもあるのではないか。受益者負担の考えは今後重要になるのではないか。
- ・ 移動手段のない高齢者の生活に必要な手段は何か。福祉との線引きをどう決めるか。
- ・ 小川駅～イオンモールへのシャトルバスは利用も多くがんばっている。生活の足を確保するため民間企業や病院などに協力を求められないか。そのためのシステムを作れないか。

作成 宇城市公共交通連携協議会

本資料についてのお問い合わせは

宇城市公共交通連携協議会事務局（宇城市企画部企画課企画係）

〒869-0592 熊本県宇城市松橋町大野 85 番地

TEL：(0964)32-1111 FAX：(0964)32-0110